



四季の部 銀賞「だるま市の賑わい」
文京区 小池 茂

山報
高幡不動尊

ブルー色の境内

別格本山高幡山金剛寺 貫主 杉田 純 一

毎年十一月十四日の前後一週間程、高幡山境内のあかりを「ブルー」で点灯しています。ある時、なぜブルーでライトアップしているのですかと問われ、「十一月十四日は世界糖尿病デーであり、糖尿病の予防と治療の啓発のため、高幡の不動さまでも、そのシンボルカラーであるブルーでライトアップしています」とお答えしております。

高幡の地で開業医をされている朝比奈先生（朝比奈クリニック）より、お不動さまの境内でも世界糖尿病デーにあわせてブルーのあかりをとという提案があり、これを受けた時の川澄ご貫主が賛同され、当山では平成二十四年より始め、今年で七回目となります。

十一月十四日は、一九二一年に糖尿病の治療薬であるインスリンを発見したカナダのフレデリック・バンディング博士の誕生日であり、博士に敬意を表して、一九九一年にこの日を世界糖尿病デーとして制定し、二〇〇六年には国連により公式に認定されました。

世界における糖尿病の患者数は、年々増加の一途をたどっており、現在ではおよそ四億一千五〇〇万人ともいわれ、近年、特にアジア太平洋地域で増えており、日本では現在約一千万人の患者が、またその予備軍が一千万人いるともいわれています。これほどに増えてしまったのは、現代では乗り物が発達し、昔に比べて歩く機会が減ったことなどによる運動不足が、第一にあげられます。公園などで散歩やマラソンをする人を見かけますが、先代の川澄ご貫主もお医者さまから毎日一万歩といわれ、腰に万歩計をつけ、境内をよく歩いていくことを思い出します。

第二に食べ物が豊かになったことがあげられます。高度成長期に食物がだんだんと増え、今では世界中から食材が集まり、高カロリーの食事が増えたことによるでしょう。私の小さい頃、誕生日などの特別な日に、ケーキやお肉が食べられ嬉しかった記憶がありますが、現代ではごくあたりまえに食べられています。

世界糖尿病デーに先立ち高幡不動尊では、ブルーによるライトアップの初日に、自分の体験や、和顔施などの無財の七施（施す物が無くてもできる七つの布施行）についてお話しいたしましたが、これらを実践するには、なにより健康でいること、それには日々の節度ある食事、適度な運動がなにより必要ではないでしょうか。

お不動さまの心——(一〇三) 現代の世相から(63) 廣澤隆之

生活が変化すると心持ちも変わるものです。それは衣食住のいずれの生活の形にも見られることです。例えば普段着を身につけた時と冠婚葬祭などに臨んで正装をする場合では、衣服を身につけた時から気分が変わります。しかも洋服の生活が当たり前になった現代では、和服を着るだけでいつもとは違った気持ちになります。

このような衣食住の中で心持ちが私たちの感性や振る舞いにも影響し、生活に即した言葉を生み出し、生活にふさわしい言葉づかいをすることで文化を形成しているといえるでしょう。そのことがまた心のあり方にも深く影響しています。そのことについて少しばかり考えてみましょう。

私たちの生活の形は住居によっても大きく変化しました。かつては障子やふすまで仕切られた畳の部屋で生活するのが当たり前でした。しかし今では和室がない住宅も当たり前になっています。このような住宅では食事も椅子に座ってテーブルにつく形になります。そうすると、

もはや「ちゃぶだい返し」も死語になり、人気を博した漫画『巨人の星』で星一徹が飛雄馬や家族に当たり散らす場面も今の子供たちには想像しにくいことでしょう。

ところが日本の家庭ではテーブルで食事をするようになって、昔と同じように茶碗とお椀は手に持って食べるという風習は残っています。食器を手に持って食べるという食習慣は世界でも珍しいと思います。このような、普段の生活では気づかないところにもわずかにですが文化の継承を見ることができま

す。しかし畳での生活をしなくなったことで私には気がかりなことがあります。今では日常生活で正座をする習慣がなくなり、それが気がかりになりました。そのことが気になります。正座を正式のものとする文化は日本独自のものと思われ、その中で成立した正座について調べてみました。正座が日本人の生活の中で普及したのは江戸時代からであるようです。それは庶民に畳の

部屋が普及したことも関連があるようです。また武士の礼法が決められる中で、目上の人の前でかしまるために正座をいたしました。たしかに鎌倉時代や戦国時代のドラマなどでは殿さまの前でも武士はあぐらで坐っています。そして正座をするようになった江戸時代でもまだ「正座」という言葉もなく、正しい坐りかたという考えもなかったようです。明治時代になって子供のしつけをする方針を定める中でこの坐りかたを「正座」



十一面観世音菩薩立像

そして目上の人の前で「かしまる」時に正座するという表現はすでに平安時代の十世紀の文学の中に見ることが出来ます。現代でも正座を「かしまる」ということがあるのは、その名残でしょう。例えば客人に対して「かしまらずに楽にしてください」と言うのは「正座の足をくずして気持ちに楽にしてください」ということで、「畏む」として坐りかたが密接に関係していることが分かります。このような心を緊張させて正

といったようです。

ところで、江戸時代以前には、特殊な場合に正座という坐法があったようです。それは神さまや仏さまなどの神聖な場所や心をととのえる際にこの坐りかたが行われていたようです。そも

も神さまや仏さまは畏れおおい存在とされますから、畏れ敬う気持ちになります。それを「畏む(かしこむ)」と表現します。この畏むという気持ちが坐りかたになったと思われる。

座するという文化が現代においては次第に消えてしまっているように思います。

私の住持する寺の本堂は三百年ほど前に建てられた古い建物で、昔ながらの寺の形のままになっています。この本堂で法要を行なうのですが、最近では和室で使える椅子を用意しています。お年寄りは正座するのがままありませんので、そのような方には椅子に坐って法要に参列していただいています。しかし私は

足が不都合でない方には正座をすることをお願いしています。特に若い人たちには足のしびれを我慢してでも正座をすることを、冗談交じりではありますがお願いします。

もはや現代では正座をする生活は消え去ってしまいました。それは「かしまる」という心持ちが薄れてしまうことではないかと危惧します。そこで本堂で仏さまの前で「かしまる」ために、法要では正座をお願いしています。このように正座は単に坐る形というのではなく、その正座をする心持ちが大事であると思います。そしてこのような坐法と心を結びつけた日本人の文化を再確認する必要があるでしょう。

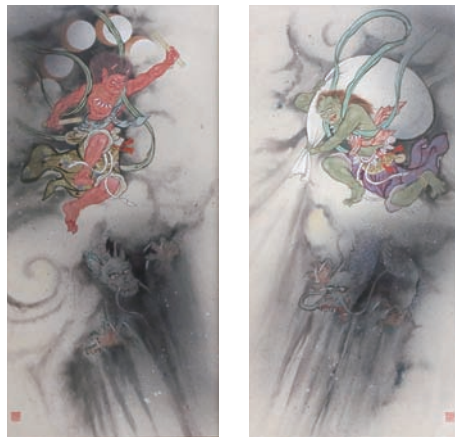
現代人は便利で快適な生活に慣れきってしまっています。そのような生活が「畏れおおい」神さま仏さまへの心持ちを見失いがちです。そのようなことを反省しつつ、日常生活の中に継承されてきた文化を見つめ直し、先祖から伝えられた神仏への祈りを普段の生活のなかで大切にしたいものです。

- 廣澤隆之先生のプロフィール
- 大正大学名誉教授
- 浄福寺住職

ご奉納御礼

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申し上げます。
(敬称をすべて省略させていただきます)

品名 日本画「風神」「雷神」額装
奉納者 江本 象岳



品名 火 鉢

奉納者 日野市 佐藤 賢次郎

品名 念仏の鐘

奉納者 日野市 滝瀬 勇

境内整備緑化資金

寄進者芳名

(平成三十年八月一日〜三十年十月三十一日)

彦根市 西澤 政男 (三回)

千体地藏尊

奉安者芳名

(平成三十年八月一日〜三十年十月三十一日)

- 中野区 中村 佳奈子
- 小金井市 鴨下 和世
- 四体 小平市 雪田 光弘
- 武蔵村山市 横川 義則
- 八王子市 森田 くみ子
- 八王子市 森田 康裕
- 八王子市 森田 哲三

幟旗奉納者芳名

(平成三十年八月一日〜三十年十月三十一日)

- 中野区 黒沢 功記
- 小平市 雪田 光弘
- 青梅市 谷重 治
- 八王子市 栗原 成子
- 八王子市 青嶋 寿夫

大提灯奉納者芳名

(平成三十年二月一日〜三十年十月三十一日)

- 八王子市 木村 茂代
- 町田市 諏訪 和世
- 町田市 山本 芳男
- 世田谷区 焚森ロムンコンプレックス 世田谷区 高橋 典子
- 世田谷区 高橋 典子
- 中野区 黒澤 功記
- 昭島市 高幡不動ござれ市 昭島市 下田 孝治
- 日野市 土方 和
- 日野市 株式会社ヒアソフォルテ 日野市 朝比奈クリニック
- 日野市 朝比奈クリニック 彦根市 西澤 政男
- 彦根市 西澤 正浩
- 彦根市 西澤 秀明
- 彦根市 西澤 加奈子
- 彦根市 西澤 勇人
- 彦根市 西澤 由莉
- 彦根市 西澤 美幸
- 彦根市 西澤 央泰
- 彦根市 西澤 正矩

檀信徒研修旅行のご案内

総本山智積院と別格本山大須観音

京都・愛知・静岡の名刹を訪ねる旅

当山で新貫主就任に伴い京都総本山智積院への研修旅行を左記の通り行います。奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

尚、今回は「総本山智積院」、「別格本山大須観音寶生院」、「小野小町ゆかりの隨心院」、「世界遺産の醍醐寺」、「徳川氏の菩提寺の大樹寺」、「井伊直虎ゆかりの龍潭寺」など京都・愛知・静岡の旅となっております。

一、月 日 平成三十一年四月九日(火) 十一日(木)

- 一、乗物 全行程大型バス
 - 一、募集人員 三十名
 - 一、宿泊 京都市内ホテル・西浦温泉
 - 一、費用 九八、〇〇〇円
 - 一、申込金 一〇、〇〇〇円
 - 一、申込所 高幡不動尊事務局
 - 一、申込受付 平成三十一年一月八日
- ※詳しい日程等をご希望の方は高幡不動尊事務局までお問い合わせ下さい。

(TEL)〇四二・五九一・〇〇三二)



総本山智積院 金堂



長谷川等伯一門の「国宝障壁画」



健やかに～七五三祈願 11/10

高幡不動尊 フォトニュース



装道きもの学院による着付直し 11/10



豪雨災害救援募金を朝日新聞厚生文化事業団へ

謹んで本年各地で発生した
自然災害のお見舞いを
申し上げます



色鮮やかに～曼珠沙華 9/19



茶筌供養 11/11



立正佼成会祈願祭 10/23



遍照講の皆さんのご奉仕～おみぎ 9/25



真剣な眼差しで～菊審査 11/5



ブルーライトアップコンサート 11/10



警視庁鑑識課法要 11/10



JAXAを視察～日野市仏教会研修旅行 10/12



「壽門会」篆刻展 11/10



清冽な音に包まれて～「鼓調の会」 10/23

當山第三十三世貫主

川澄祐勝大僧正第壹周忌法要

十月四日、當山第三十三世貫主川澄祐勝大僧正の第壹周忌法要を大本山川崎大師平間寺藤田隆乘御貫首様大導師のもと大日堂に於て勤修されました。

当日は、大本山成田山新勝寺橋本照檢御貫首様、大本山高尾山薬王院大山隆玄御貫首名代・菅谷秀文執事長様、法類幡山会、東京多摩教区御寺院、縁故御寺院、檀徒総代世話人、遍照講高幡山支部、遺族の方々が参列されました。

法要では大導師によって川澄貫主の遺徳を讃える回向文が読み上げられ、続いて読経、焼香、御詠歌「追善供養和讃」の奉詠と川澄貫主の仏果増進を祈りました。



川崎大師 藤田隆乘大導師様の回向文奉読



お堂いっぱいの皆様方にご焼香いただきました



密厳流遍照講高幡山支部のご詠歌奉詠

多摩八十八ヶ所巡拝の募集

当山では毎年四月から十月にかけて多摩八十八ヶ所巡拝を左記の通り実施しております。東京多摩地方、弘法大師ゆかりの霊場を巡りお大師様と出合うお遍路の旅に出かけてはいかがでしょうか。初めての方でも先達のお坊さんと共に楽しく巡拝できますのでご知友誘い合せてご参加下さい。

記

- 一、巡 拜 四月～十月
毎月第一週・ご希望の各曜日(日・火・木)
- 一、会 費 四九、六〇〇円
(納経料・バス代・保険料等含む)分割納入も可
- 一、昼 食 各自持参

※詳しくは高幡山内「龍華会」まで

く 献花のおすすすめく

お花講 講員の募集

当山ではお花講講員の皆さま方の会費により、山内全ての伽藍のお花を飾らせていただいております。毎年秋季大祭大般若会(九月二十八日)に御招待(法話・大般若会参加・お護摩札授与・精進料理接待)致します。大勢様ご入講下さいますようご案内申し上げます。

記

- 一、名称 高幡山お花講
 - 一、会費 一ヶ月 五〇〇円
- ※入講は随時承っております。ご入講の皆様には輪袈裟を授与します。



10月21日には高幡山にて結願大護摩修行

當山第三十四世貫主

杉田純一大僧正晋山披露祝賀会

十月十七日、去る六月十二日に勤修した晋山奉告法要に続き、當山第三十四世貫主杉田純一大僧正晋山披露祝賀会が京王プラザホテルに於て開催されました。

江戸消防記念会第九区様総勢五十名による木遣り・纏の先導にて貫主ご夫妻が入場、続いて幡山会会長清水博雅様が新貫主を紹介し、ご祝辞を真言宗智山派管長小峰一允院下、日野市長大坪冬彦様、京王電鉄(株)社長紅村康様にいただき、宗務総長芙蓉良英様のご乾杯のご発声にて会は終始和やかに進みました。当日は総本山根来寺座主中村元信院下、大本山随心院門跡龜谷英央院下、成田山新勝寺様、川崎大師平間寺様、高尾山薬王院様をはじめ宗派内外のご寺院様・ご信者様総勢五百名を越える皆様にご臨席いただきました。



小峰一允管長院下のご祝辞



江戸消防記念会第九区様の祝いの木遣り



つのだ☆ひろさんから歌のプレゼント



土方邦人筆頭総代の謝辞

「忘れない、和、明日への祈り」

聲明とジャズのゆうべ

平成三十一年三月十五日(金)

於 日野市民会館大ホール

お問い合わせ 日野市民会館 ○四二一五八五二一〇一

聲明 真言宗智山派高幡不動尊金剛寺

真言宗智山派青年会有志

演奏 Super Red Band

山主の主な動静

- 9/4 常勝寺(埼玉第三教区) 参
- 拜団・9/10 まちおこし協議会・
- 9/13 稱名寺通夜(焼香)・9/14 宥勝寺御母堂様通夜(焼香)・
- 9/19 RC卓話・9/20 PC卓話・9/23 彼岸会法要・9/26 もみじ灯路実行委
- 9/27 新選組まつり実行委・9/28 秋季大祭大般若会・10/1 大報恩寺展・10/4 祐勝和上巻周忌法要
- 10/10 大善寺開帳参拜・10/12 嵯峨御流祝賀会(京都)・10/14 勝五郎調査団講演会挨拶・善光院(上総第三教区) 参拜団・10/17 晋山披露祝賀会(京プラ新宿)
- 10/19 谷井家葬儀(導師)・10/21 多摩八十八ヶ所結願法要・10/22 高尾山御礼・10/23 立正佼成会世界平和祈願法要・10/24 藤井家葬儀(導師)・10/26 日野市長御礼・文殊院(茨城第一教区) 参拜
- 10/27 正音寺(埼玉第十二教区) 参拜団・10/28 大福寺(埼玉第六教区) 参拜団・10/31 稱名寺本葬(焼香)・智山専修学院生来山・11/1 成田山御礼・日野七福神総会・11/2 川崎大師御礼・11/5 大須観音御礼・11/6 総本山智積院御礼・11/7 もみじ灯路実行委・11/8 観光協会研修旅行(栃木)・11/9 智山RC(別院)・11/10 警視庁鑑識課靈法要(導師)・ブルーライトアップ式典・11/11 茶筌供養・11/12 京王本社御礼・真菜寺(長野県北部教区) 参拜団・11/17 体育協会六十年式典・錫杖寺・隨泉寺披露宴・11/18 高榮寺(長野南部教区) 参拜団・11/22 萬灯会・もみじ灯路・11/23 花塚供養・11/25 江戸消防三百年記念祝賀会(芝公園)・11/27 潤徳小評議会

年末・正月・初不動・節分のご案内

◆十二月

○9日(日) フリーマーケット
○13日(木) 煤払い(午前9時)

堂塔や仏さまの一年の煤を山内僧侶達が払います。

○15日(土) お焚き上げ(午前9時)

○16日(日) ござれ市(がらくた市)

○21日(金) 月例写経会(午後1時30分 山内僧侶法話・写経)

○22日(土) 冬至星まつり(午後5時・於不動堂)

星曼荼羅に来年の厄除・開運を祈る行事です。

○24日(月) 千体地藏尊月例法要(午後2時法要 法話 山内僧侶)

○28日(金) 納めの不動尊・歳の市

お焚き上げ(午前6時・9時)

古い護摩札・お守り・だるま等を納め、一年の無事

を感じ、来年の安全を祈ります。

○31日(月) 大晦日・除夜の鐘供養

先着一〇八組の方に無料で撞いていただきます。

◆一月

○元旦・2日・3日

元朝祈願大護摩修行

元旦は午前0時、2日・3日は午前6時から大護摩修行。尚2月11日までの護摩修行は特別の時間帯になつておりますのでご注意ください。

自動車の交通安全祈願

元旦は午前0時から午後7時まで、
2日・3日は午前6時から午後6時まで。

○元旦(日) 日野七福神めぐり(朱印受付)

○13日(日) フリーマーケット

○15日(火) 厄除牛王宝印々可(於不動堂)

弘法大師御作と伝わる秘印のお加持が受けられます。
息災延命・頭痛除けの霊験が知られています。

お焚き上げ(午前6時・9時)

日野七福神めぐりのご案内

新春恒例となりました日野七福神めぐりを左記の通り実施致しますので皆様方お誘い合わせてご参詣下さい。

尚、ご朱印につきましては『日野七福神めぐり色紙』をおすすめ致します。

記

一、実施期間 平成三十一年一月一日～七日

一、ご朱印受付時間 午前九時～午後四時

一、七福神色紙 一枚 三〇〇円也(各寺院にあります)

一、ご朱印料 一印 三〇〇円也

※実施期間・時間にはくれぐれもご注意ください。

○布袋尊 宗印寺(平山)

京王線平山城址公園駅より徒歩五分

○大黒天 善生寺(豊田)

京王線南平駅より徒歩十五分

○寿老尊 延命寺(川辺堀之内)

京王線南平駅より徒歩二十分

○弁財天 高幡不動尊(高幡)

京王線・多摩都市モノレール

高幡不動駅より徒歩三～五分

○毘沙門天 安養寺(万願寺)

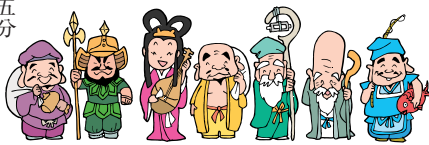
多摩都市モノレール万願寺駅より徒歩五分

○福祿寿 石田寺(石田)

多摩都市モノレール万願寺駅より徒歩五分

○恵比寿天 真照寺(落川)

京王線百草園駅より徒歩三分



◎ほのほうちわ授与

○厄除・交通安全のほのほうちわは元旦から節分までお頒けいたします。
一体 五〇〇円也



◎元旦護摩のお受け

取り場所について

十二月三十一日までにお申込みいただきました元旦護摩はすべて元旦の一番護摩でござります。お札のお渡しは午前二時頃からです。

一～三日 客殿二階洋間

四日以降 宝輪閣地階

になりますのでご注意ください。

○20日(日) ござれ市(がらくた市)

○21日(月) 初大師・月例写経会(午後1時30分 山内僧侶法話・写経)

○24日(木) 千体地藏尊月例法要(午後2時30分 法話 山内僧侶)

○25日(金) 文化財防火演習(午前9時)

○28日(月) 初不動大祭

稚児行列(おねり)(午後2時)

だるま市 関東各地のだるま屋さんの威勢の良い掛け声が飛び交い、十万人の人出で賑わいます。

○31日(木) 豆煎り式(午前10時)

幼稚園児や参詣の方々が節分の福豆を煎ります。

◇二月

○3日(日) 節分豆撒式・だるま市

豆撒式は午前10時から5回。合計約一、〇〇〇人の年男が招福を祈り豆を撒きます。芸能人・タレント多数参加。尚、どなたでも申込みにより年男として参加できます。又節分会員になっていただき、お札、お供物を受けることもできます。

○10日(日) フリーマーケット

○15日(金) 涅槃会(午後1時・於大日堂)

お釈迦様が涅槃に入られた日。お釈迦様を追慕し仏恩に感謝する法要を行います。

法話 圓乘院 住職 小峰正如先生

演題「心と心、仏さまと私」

お焚き上げ(午前6時・9時)

○17日(日) ござれ市(がらくた市)

○21日(木) 月例写経会(午後1時30分 山内僧侶法話・写経)

○24日(日) 千体地藏尊月例法要(午後2時法要 法話 山内僧侶)

○28日(木) 月例祭(ござ縁日)

豆撒式年男のご案内

◇御本尊不動明王の御宝前に於て攘災招福立春大吉の大護摩供を奉修し併せて盛大な豆撒式を執り行います。年男としてご参列いただきたくご案内申し上げます。

一、日 時 二月三日(日)

第一回 午前十時

第二回 午前十一時

第三回 午後一時

第四回 午後三時

第五回 午後四時

一、式 場 不動堂及び宝輪閣二階

一、冥加料 金三万円也

※袴は当山でお貸し致します。尚 豆撒終了後の祝宴会場は本坊三階大広間でございます。



節分会々員のおすすめ

◇節分当日は早朝から会員の皆様の七難即滅・七福即生の大護摩をご修行致しますので、奮ってご参加下さい。

一、会員には、特別会員(冥加料 一万円) があります。

会 員 (冥加料 三千元)

一、当山事務局にて節分願主名簿にご記入し、引替証をお受け取り下さい。

一、立春大吉の護摩札と福豆、供物等をお授け致します。

(参加申込み 二月三日 午後四時まで)

◎お護摩札郵送について

お護摩札郵送を希望される方は郵送用伝票がございますので所定事項を記入の上係までお申し付け下さい。

◎三ヶ日参詣駐車場について

今年も左記の方々のご厚意により、三ヶ日の駐車場が確保できましたのでご利用下さい。

※臨時駐車場提供の方々には多摩コース・東京南農協・さわやか信用金庫・食品のおた・日野市役所等の皆様でございます。尚、食品のおおたは二日まで。

◎初不動大祭(二月二十八日) お稚児のおすすめ

お子様がみ仏にお稚児として奉仕いたしますと身体安全・無病息災のご利益が得られると伝えられています。

○適齢は三歳〜七歳位

○冥加料 七千円

詳細は高幡山事務局まで

☎〇四二五九一・〇〇三三代

第四十八回(十月二十七日～十一月十八日) 高幡不動尊菊まつり

東大和市菊花愛好会

堤 健次

平成最後の高幡不動尊菊まつりとなり、日野市観光協会設立六十周年でもある本年の菊まつりを盛大に行う事が出来、関係者の方々には心より御礼申し上げます。

日野市観光協会は都立多摩動物園が開園された昭和三十三年に日野観光協会として設立されました。そして昭和四十五年の秋に第一回高幡不動尊菊まつりが開催され、本年四十八回目を迎えることとなりました。

菊の育成には天候が一番の影響力があります。本年は苦戦をするような天候が続きましたが、ここに盛大に菊まつりが行えたこと、誠に嬉しく思います。

七五三行事と共に多くの方に楽しんで頂けた菊まつりでした。この場をお借りして参加団体の方々に心より御礼申

上げます。都下での一番大きな菊まつりとなる高幡不動尊での開催が更に盛り上がりつつあります。本年も例年通り十一月五日と十三日に審査が行われ、次の方々が入賞されましたのでご紹介いたします。

上位入賞者(敬称略)

- 内閣総理大臣賞
盆養・厚盛・国華金山 八王子市 和田 益男
- 文部科学大臣賞
盆養・だるま厚物・国華金山 国分寺市 西中 国人
- 農林水産大臣賞
切花・厚盛・国華金山 日野市 西野 正人
- 厚生労働大臣賞
切花・厚盛・国華伝説 日野市 西野 正人
- 環境大臣賞
競技花盆養・間管・彩胡黄時雨 昭島市 小川 二郎
- 東京都知事賞
盆養・細管・天女の名所 国分寺市 萩生田 稔
- 日野市長賞
盆養・ジャンボ福助・国華金山 多摩市 高斉 滋
- 立川市長賞
盆養・太管・泉郷情熱 八王子市 山本 昌宏
- 府中市市長賞
盆養・厚走・国華聖者 多摩市 高斉 滋
- 昭島市長賞
切花・間管・彩胡舞妓 町田市 細谷 和正
- 小金井市長賞
切花・新花厚物・彩胡香華 日野市 西野 正人
- 小平市長賞
切花・太管・彩胡流星 八王子市 和田 益男
- 国分寺市長賞
盆養・懸崖・北斗の金星 青梅羽村 池嶋 光雄
- 東大和市長賞
切花・一文字・玉光院 八王子市 松崎 隆一
- 武蔵村山市市長賞
切花・新花厚物・彩胡三枝 国分寺市 須崎 志郎
- 多摩市長賞
盆養・間管・開竜秋峰 国分寺市 須崎 志郎
- 町田市長賞
切花・大掴・斗南の月 八王子市 和田 益男
- 日野市議会議長賞
盆養・福助管物・彩胡さがみ川 町田市 榎本 幸正
- 全菊連会長賞
切花・間管・彩胡夢美 立川市 橘 勇
- 高幡不動尊賞
競技花盆養・厚物・国華玄隼 国分寺市 小峯 由彦
- コニカミノルタ賞
盆養・だるま管物・彩胡優美 八王子市 松崎 隆一
- 京王電鉄賞
切花・細管・彩胡清純 立川市 橘 勇
- 読売新聞社賞
切花・新花厚物・国華昂 東大和市 田中 誠
- 日野市商工会会長賞
競技花切花・太管・泉郷情熱 八王子市 松崎 隆一
- 富士電機株賞
盆養・三色花壇・金山越山強大 国分寺市 萩生田 稔
- 富士旅館賞
切花・競技厚走・国華卒寿啓 東大和市 若杉 むつ



内閣総理大臣賞 和田 益男



農林水産大臣賞 西野 正人

諸行事に参加して

(敬称略)

頂きまして、今日もお花講総会に出席出来ましたことを感謝しております。

からもお参りをつづけ、日々健やかに過していきたいと思

秋季大祭大般若会 (9/28)

江戸川区 戸澤 順子

八王子市 宮島 智世

国立市 小林 智子

好天に恵まれ、いつになく大般若を間近に体験し、般若心経も一生懸命にお唱え致しました。お隣になるお方との出会い。本日も心よりの供養の心を供えることができた。お世話になりました。

あつという間に一年が経ち二度目のお花講となりました。お不動様の足元にいつも綺麗な花があることを目にする毎とても嬉しく思っています。有難うございます。

正法寺ご住職のご法話はユーモアにあふれ、とても楽しくお聴きしました。大般若会も初めて拝見し、立派で感激しました。色々とお世話を頂き楽しく有意義な一日を授けて下さり有難うございました。

お花講総登壇 (9/28)

渋谷区 田中萬里子

三鷹市 荻窪 麗子

多摩八十八ヶ所結願 (10/21)

いつ来てもすがすがしい高幡不動尊様。お参りする毎に「生きる力」を頂いております。お不動様にお花のご縁を

ご縁があつて高幡不動尊を訪れました。私は千葉県成田出身の為、お不動様つながりです。九月は実母の祥月命日ということもあり、毎年このお花講に参加するのも何かのご縁。楽しみにしております。

清瀬市 沖山 順子

お寺さんでのお接待にホッと感謝の気持ちです。次年度も参加させていただけますようにと願っています。

「おもてなしの心」

秋季大祭記念法話 (9/28)

坂東三十三観音第十番札所

日野市 原 元子

岩殿観音 正法寺

ご住職 中嶋 栄先生

多摩八十八ヶ所巡拝

結願記念法話 (10/21)

「巡拝のころ」

大本山高尾山薬王院教務部長

八王子市 高楽寺

ご住職 佐藤 秀仁先生

東大和市 栗原 進



大般若転読会

中嶋先生のご法話、とても楽しく聴かせて頂きました。初めての出席でしたが、隣席の方とお話しも出来て、とても良かったと思います。これ



ユーモアたっぷり 中嶋 栄先生



山伏姿も凜凜しい 佐藤秀仁先生



多摩八十八ヶ所巡拝結願～貫主のお授け～

今年をはじめて参加致しました。各お寺様のお接待はじめ色々良い体験をし、参考になりました。同じお心持ちのお友達が出来、来年も参加致したく存じます。

本日は佐藤秀仁先生の法話を拝聴させて頂き誠にありがとうございました。衣・食・住で今一番大事なのは、一人一人が持ち合わせる人のころが大切です。巡礼では先祖代々からの命がある仏さまと出会え自覚する、悟りとは命の尊厳やお不動さまや仏さまのころ。普段の生活に活かして行く慈悲の心を発起して、自分以外の人の喜び、悲しみそう言った事が仏さまの心、その人は心と言うレンズが光り出す……。最後に法螺貝を吹き鳴らし、あつという間の一時間でした。

まんどうえ
萬燈会・もみじ灯路

第二十三回高幡不動尊萬燈会・第十三回たかはたもみじ灯路が十一月二十二日・二十三日の両日盛大に開催されました。両日とも五重塔塔院大ホールで田中成明先生の記念法話・密厳流御詠歌奉詠・萬燈会大法要・ヴァイオリニスト 崎谷直人氏の記念コンサート、五重塔初重では精霊供養法要。門前町一帯では約三千個の灯籠が一斉にともされ幽玄な世界が広がりました。その他境内では薄茶接待・嵯峨御流華展等が行われました。



たかはたもみじ灯路の「夢あかり」



「新選組のテーマ」をアンコールに
 崎谷直人氏のコンサート



追福菩提を祈って塔婆供養



江戸消防記念会の木遣の中
 五重塔初重へ上堂



法要前のご法話～田中成明先生～

山内消息



大健闘！3位入賞

自衛消防活動審査会

九月十九日、万願寺中央公園グラウンドにて自衛消防活動審査会が実施されました。

当山からは昨年に引き続き直井・百戸・上田の三名が自衛消防隊として一号消火栓の部Bグループに出場、参加隊八チーム中三位（優秀賞）となりました。猛暑の中でも頑張って練習した結果が本番でも生かされたのではないかと思っておりますが、審査会の訓練を通じて万々に備え日頃からの災害に対する備えの重要性を実感しました。（百戸記）

秋季大祭大般若転読会

お花講総登壇

九月二十八日、お花講総会が講員一二〇名（総講員三〇二名）の出席で開催されました。当日は、晴天に恵まれ、秋季大祭大般若転読会が盛大に行われ、講員の皆様はまず

坂東三十三観音第十番札所岩殿観音正法寺ご住職中嶋 栄先生の記念法話を聴講し、不動堂に於て、大般若会法要に参列し続いて、懇親会場に移

動。貫主の挨拶、会計報告を行い当山の精進料理を召し上がって頂きました。（石坂記）

日野市仏教会研修旅行

去る十月十二日、恒例の日野市仏教会研修旅行が開催されました。今年市内八ヶ寺

十名が参加し、早朝よりバスにて茨城県へと向いました。先ず、坂東観音霊場第二十

四番札所 雨引観音 楽法寺をお参りしました。六世紀に開かれた古刹で、翌日に大きな行事を控えていたにもかかわらず、丁寧に案内を頂き

ました。

次いで霊峰「筑波山」を御

神体と仰ぐ筑波山神社を参拝し、昼食を取りました。

最後に訪れたのが、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）筑波宇宙センターです。

千年を越す歴史を有する古社・古刹を参拝し、最先端の宇宙科学技術の一端に触れることの出来た有意義な研修となりました。（直井記）

密厳流遍照講

東京多摩教区連合会、検定会

十一月十四日、ご詠歌講習

会並びに検定会が当山にて開催され、九十名に参加いただきました



先生範良口瀧～講習会連合多摩講照遍



～智山専修学院生修行僧清々

きました。

この度の講習会に際し、講師には、瀧口良範先生、検定員には、林 智宏先生をお迎えし、

「興教大師入滅和讃（付円明）」

「御茶接待答札和讃」の二曲を講習いただきました。菊まつり、そして、秋も深まりもみじも色づき始め、賑わう境内に皆様のご詠歌が響きわたっていました。（手塚記）

智山専修学院生来山

総本山智積院から智山専修

学院生二十三名が陶山生徒監奥田副生徒監の引率にて来山

しました。

一行は大護摩修行の後、奥殿、大日堂等を拝観し研修の日程を終了、帰路に就きました。総本山ではこれから厳しい寒さの中の修行となります。お体に気を付けて、無魔成満を祈念しております。（上田記）

ニューフェイス紹介

十月二十一日より新しい職員が入寺しました。宮原照友君です。宮原君はお正月のアルバイトの経験もあり、学生時代はラグーマンでした。配達業の経験もあって、力自慢

に加え車の運転も得意です。ラグビーで鍛えたパワーと爽やかな人柄で、日野レッドドルフィンズ（地元ラグビーチーム）の様な大活躍を期待しています。



すまじい

高幡いきもの曼荼羅 ⑤

川澄前貫主の一周忌法要を終えたある日、事務局の入口に一匹のカマキリを見つけました。踏んではいけないと思い、外に連れ出そうとすると激しく威嚇してきます。こちらから手を出すと、カマキリにとっては攻撃されていると変わりがないのかも知れません。虫達との意思の疎通は難しいものです。

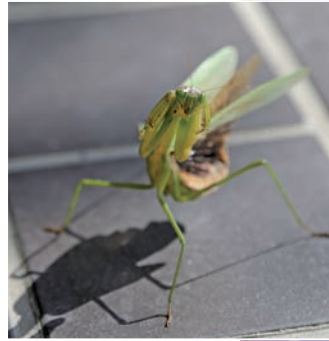
秋はまだ昆虫が活発に活動します。気を付けたいのはスズメバチです。もとより意思の疎通が図れず、共存共栄が難しいとされる生き物です。うっかり刺激しないよう敬して遠ざける以外に道はないのでしょうか。むしろスズメバチが活動しやすい環境、増え続けている原因に目を向けるべきかも知れません。

さて、菊まつりの展示が始まり、綿虫が飛び始めるとヤマガラやアオジ、ジョウビタキたちが帰ってきます。境内に木枯らしが吹き始めるのもあと僅かです。

綿虫や午後の影濃き太鼓橋 祐勝



サザンカとオオスズメバチ



威嚇するカマキリ ~事務局にて



アオジ~五重塔付近

なにげなくつかっている仏教のことば——行儀(ぎょうぎ)

子供の頃、行儀が良いと褒められ、悪いと叱られた記憶は、みなさんにもおありのことと思います。

行儀とは、本来は、仏道の修行に関する規則や、法要に

おける儀式・作法のことをい

う仏教用語です。ただ中世には現在と同様、すでに「立ち居ふるまい」という意味で、

行儀の語が用いられていたようです。

ちなみに、「立ち居ふるま

い」を意味する別の仏教用語には、「威儀」という語があります。これは、戒律にかな

った日常の修行僧の起居動作をいうものです。(小林靖典)



お不動さま教えて？

ご質問 釈迦如来と普賢菩薩と文殊菩薩さまが、ひと組で安置されていることには、何か理由があるのでしょいか？
どうかお不動さま教えてください。(前号のつづき)

お答え はい、お答え致します。前号では、五重塔の塔院大ホールに安置されている、文殊菩薩さまのお姿と、その役割についてお答え致しました。そこで今回は、



釈迦如来と文殊・普賢菩薩

釈迦如来と普賢菩薩と文殊菩薩さまが、ひと組で安置されていることについてお答え致します。

お堂に仏像をお祀りする場合、しばしば中央にご本尊を安置し、その左右に菩薩などのお姿を脇侍(きょうじ・わきじ)として安置し、三尊の形式をとります。例えば、薬師如来をご本尊とするときには左右に日光菩薩と月光菩薩を、阿

安置して三尊の形式をとります。

さて、ご質問の釈迦如来の場合、脇侍として配置される尊像には、文殊菩薩と普賢菩薩だけではなく、梵天と帝釈天、薬王菩薩と薬上菩薩などを脇侍とする作例があります。これは、脇侍を決めるときに根拠とした經典の相違による

ものものです。すなわち「増一阿含經」では梵天と帝釈天を、「觀藥王藥上二菩薩經」では薬王菩薩と薬上菩薩を脇侍として説かれています。

そして、文殊菩薩と普賢菩薩を脇侍とするのは『華嚴經』であり、それには「あるとき、お釈迦さまが舍衛城にある祇園精舎に滞在され、普賢菩薩と文殊菩薩とを初めとする五千人の菩薩とともにおられました」と説かれていることにより

ます。それではなぜ、普賢と文殊さまが脇侍とされたのかという疑問が残ります。これについては、次号にお答えしたいと思います。

それではなぜ、普賢と文殊さまが脇侍とされたのかという疑問が残ります。これについては、次号にお答えしたいと思います。

皆様からのお便り

病気とお不動様、お遍路

私は毎年、年一回の健康診断と同時に内視鏡検査を受けていますが、数年前より、どうも小さな潰瘍か癌があり、掛り付けの医者に紹介状を書いて頂き、直ちに東海大学八王子病院にて診察を受

けました。先生のお話では癌の疑いがあるのので、即刻採血検査、心電図検査、CTスキャン検査を済ませ、翌日先生から説明を聞き、私なりに納得出来ましたので、三日後に内視鏡による剥離手術を行い七日間の入院生活をして退院する事が出来ました。



この間、先生、看護師、スタッフの皆さん、食事を作る方、配膳の方、掃除の方、事務、掛り付け医等々お世話になりました。感謝申し上げます。(病気は早期発見ですね) 病院生活では、大勢の患者さんと大勢のお世話をする方に驚きました。そんな中、ふと思ひ起こしたことがあります。お不動様の剣と縄です。

悪い病気は剣にて払いのけ、私の命は縄で引き上げ助けていただきました。常日頃皆さんからお不動様のお話をお聞きしているからか、お不動様にお参りする皆様の気持ちもよく分かるようになりました。これからも、この気持ちを大切にしていきたいと思ひます。今年一年、多摩八十八ヶ所

の参拝と各寺院のご本尊様をお参りさせて頂いた頂き、感謝とお礼を申し上げます。また高幡不動尊の皆さんには毎年お世話になっております。これからも身体のゆるすかぎり巡拝を続けさせて頂きたいと思ひます。最後になりましたが、バスの運転士さんには常に安全運転に心掛けていただき、安心して各寺院の巡拝とお参りが出来、感謝とお

礼を申し上げます。有難うございました。今後も皆様にお世話になると思ひますが、宜しくお願い致します。 合掌 南無大師遍照金剛 八王子市 川幡 俊一

多摩八十八ヶ所巡拝も四回目になり、今年(九月四日)の巡拝は台風二十一号の影響で朝七時頃から風雨です。高尾山薬王院の石段は浄蓮の滝、豪雨で膝から足元は既にびしょ濡れの状態。平地での巡拝も台風の直撃を受けて、お勤め中に本堂前の傘立や金剛杖が強風で吹き飛ばされ、豪雨強風なので、どうぞご休想を」と御住職から御慈悲を頂きました。安堵感でいっぱい。感謝！感謝！で御礼の言葉も御座いませぬ。また、石黒先生、白鳥運転手には適切な行動、判断を仰ぎ御指導して頂き、全員無事に巡拝できました事、心から御礼申し上げます。この貴重な体験(修行)は巡拝の皆様のみならず、関係各位の自分史に残り、語り種になることでしょう。

東大和市 栗原 進

御◆案◆内

- 交通安全祈願
 - 午前九時～午後五時
 - 午後四時半までにお申込下さい。
- ご祈願料 金三千円也
- 御護摩修行
 - 平日 八時・十時・十一時半・一時・三時
 - 土曜・日曜・祝日
 - 八時・十時・十一時半・一時・二時半・四時
 - 但し一日、十五日の午前中は五時・十時・十一時半
 - ご縁日(二十八日)
 - 五時・九時・十時・十一時・十二時・一時・二時半・四時
 - 御護摩料
 - 金参千円也
 - 金五千円也
 - 金壹万円也

- ご縁日 毎月二十八日
- 境内に市が立ち参道は歩行者天国になります。
- フリーマーケット(リサイクル市)
 - 毎月第二日曜日(雨天中止)
 - ござれ市(がらくた市)
 - 毎月第三日曜日(雨天決行)
 - お焚き上げ
 - 毎月十五日午前九時
 - 毎月二十五日午後一時半
 - 月例写経会
 - 毎月二十一日午後一時半
 - 千体地藏尊月例法要
 - 毎月二十四日午後二時
 - 奥殿拝観(月曜休館)

『その歳になってみれば解る』入寺したての頃祐勝和上に言われた言葉である。小さい字で書いたメモを渡したらモット大きい字でと指示された。和上云く、若い頃師僧に「もつとデカイ字でなければ見えねえじゃねえか」と叱られた師僧と同じような年令になってみてその意味が理解出来たと。今シミジミとそれを実感しています。今年一年のご信援を深謝申し上げます。明年のご多幸をお祈りいたします。

編集室だより

発行所 〒191-0031 東京都日野市高幡733 別格本山 高幡山金剛寺 電話 (042)591-0032(代) FAX (042)593-3038 発行人 黒川高徳 編集人 年4回発行・再生紙使用

初詣境内御案内図

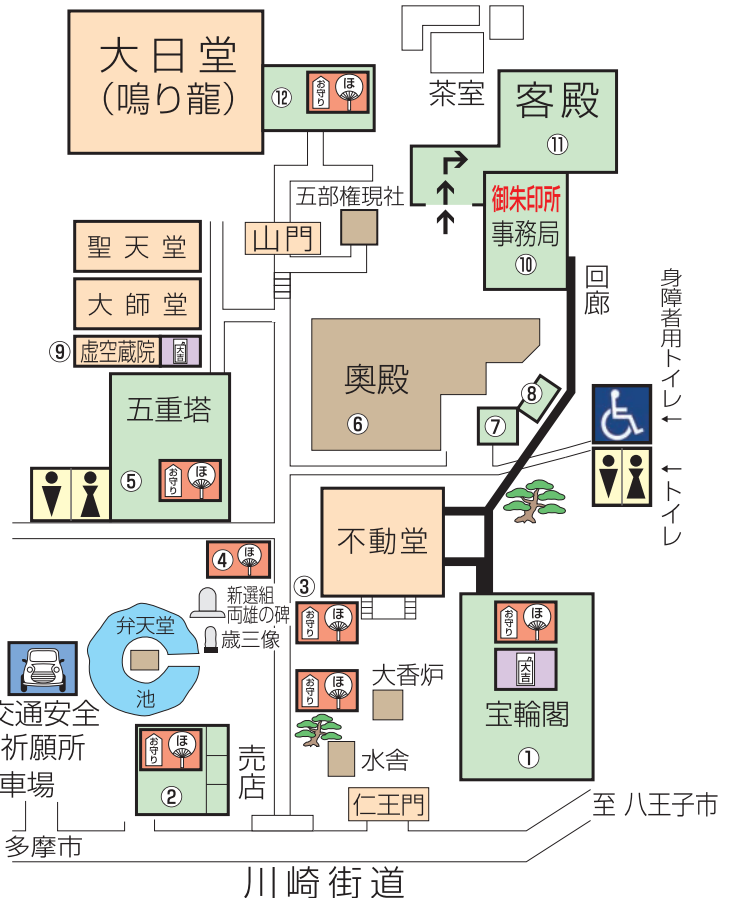
(諸堂・お守授与所・記念碑・休憩所)

- 不動堂……毎日護摩修行・丈六不動三尊参拝
(どなたでも自由に参加頂けます)
- 奥殿……寺宝展会場(指定文化財多数展示)
重文不動三尊は奥殿正面から自由に参拝して頂けます
- 大日堂……鳴り龍・八福神襖絵拝観
位牌堂(歳三位牌等多数)参拝
- 五重塔……無料休憩所・釈迦三尊像参拝
(大ホール) 千体地藏堂参拝



	お守り・ほのほうちわ授与所
	おみくじ
	身障者用トイレ
	トイレ

- ① 宝輪閣
1階-護摩受付所
地階-護摩札お渡し所
- ② 交通安全祈願受付所
- ③ お守り・ほのほうちわ
- ④ ほのほうちわ
- ⑤ 五重塔々院
(無料休憩所、千体地藏堂)
- ⑥ 奥殿拝観受付
- ⑦ 上杉堂
(百ヶ日忌・水子供養等)
- ⑧ 納札堂
- ⑨ おみくじ
- ⑩ 事務局
(総受付・御朱印所)
- ⑪ 客殿二階
(予約元旦護摩お渡し所)
- ⑫ 大日堂拝観受付



正月参拝の方は京王線・多摩モノレール・バスをご利用下さい。
高幡不動駅下車、徒歩3～5分で境内に入ります。